

事業計画書

【平成 27 年度】

自 平成 27 年 4 月 1 日
至 平成 28 年 3 月 31 日

一般社団法人 愛知医科大学同窓会

平成 27 年度 事業計画

平成 27 年 5 月 23 日(土)

【はじめに】

平成 27 年度同窓会の諸事業は、第 2 回代議員選挙により選出された新代議員並びにその付託をうけた新役員により執行されます。

平成 23 年、一般社団法人化して 4 年を経過し、事業改善及びその管理・財政基盤の整備は、同窓会組織を取り巻く社会経済環境及び時代に即応する会員ニーズの変化等に留意しつつ、段階的に行ってまいりました。

同窓会の存在意義、永続的発展は、会員及びステークホルダーのニーズを察知し、その実現に応えることにあります。また、「同窓会」は、母校である「愛知医科大学」と卒業生である「会員個々」の 3 者が協調・協働し相互支援のもと、“三方一両得”、共に発展を続けなければなりません。

もとより、各年度事業計画は、同窓会の目指すべきビジョン達成に向けた中長期、短期計画における単年度実行計画であります。今期は代議員選挙による節目の時期でありますので、同窓会のビジョン及び中長期事業計画の策定と位置付け、総合・包括的な事業の見直しを行いたいと思います。会員各位には、同窓会への一層のご理解・ご支援をお願い致します。

なお、昨年 5 月開院した新愛知医科大学病院への支援、協力は、積極的に行っていきたいと思っております。

【事業計画】

(目的)

平成 27 年度事業計画は、春の定時社員総会の実施、及び同窓会会員相互の連携を密にして一層の帰属性と、「絆」意識の高揚を図ることを目的とします。

一般社団法人として 5 年目となる運営・管理体制の整備は、「愛橋会」の安定的発展と円滑な運営に帰するため、中・長期的な視点から段階的の見直しと施策により、その基盤の強化をさらに推進するものとします。

尚、愛知医科大学 40 周年記念事業への支援ならびに協力は、引き続き推進してまいります。

(委員会の役割と改善の目標)

事業計画の企画・立案、及び執行機関である各委員会は、会員各位及びステークホルダーのニーズに応えるため、事業成果の程度及び費用対効果の視点から諸事業の見直しをおこなうものとします。

1 組織委員会事業計画

同窓会総会の盛大かつ円滑な運営について提言、協力援助を行う。

- (1) 同窓会事業活動の積極的かつ円滑な推進のために、組織活動を継続する。
- (2) 収入・支出について、会計財務委員会と協議し、是正点を検討し対策を講ずる。
- (3) 支部会活動を更に充実すべく、支部長会議の開催などを計画する。
- (4) 地域医療に関する大学の教育・実習へ協力支援する。
- (5) 在学生を応援し、同窓会事業への参加を図る。
- (6) 同窓生や医学教育センターの協力を得て、会議等への講演（生涯教育）を行う。
- (7) 卒後臨床研修センターとの連携を深めて、初期研修の充実と活性化のために協力援助する。
- (8) 大学が行う事業を積極的に支援する。
- (9) 会員に対して寄附推奨を行う。

(10) 平成 27 年定時社員総会は、名古屋市内のホテルで開催することとする。

2 広報企画委員会事業計画

(1) 愛橋会会報を、年 2 回（春・秋）発行する。

（又は「愛橋会会報は、発行時期（2 回：春・秋）及び掲載内容（ポジティブかつメッセージ性の強化）を検討する。」）

(2) 同窓会ホームページの刷新と充実（迅速性及び利活用）を図る。

(3) 他の委員会と協働し、同窓会と各委員会事業への会員参加を PR する。

(4) 名簿の在り方について、個人情報保護と会員ニーズの視点から基本方針を決定する。

(5) 同窓会の看板を医心館に設置し、また同窓会シンボルマークの周知、活用を行う。

(6) 同窓会のスクールグッズ等の作成について検討する。

3 教育学術委員会事業計画

(1) 愛橋学術賞（褒賞制度）について、愛橋会会報やホームページからの案内、大学医局長・講座長・各同窓会支部長宛及び個人宛に郵送にて広く知らせる。

(2) 愛橋学術賞受賞者（候補者）を決定し、定時社員総会および愛橋会会報・ホームページに発表・報告する。

(3) 愛橋医学奨励賞（学生対象の褒賞制度）（候補者）を決定し、愛橋会会報・ホームページにおいて報告する。

(4) 卒業式において成績優秀者に同窓会長賞を贈呈する。

4 法人組織委員会関連事業計画

(1) 「愛橋会記念事業積立金」は、資金収支の平準化を目的として、継続して行う。

(2) 社員（代議員）選出に係る「代議員選出規則（仮称）」及び「代議員選挙管理委員会規則（仮称）」等関連規則を愛橋会会報・ホームページ等において、周知徹底を図る。

5 支部会及びクラス会振興事業計画

(1) 全国的に新たな支部会の設立を推進し、同窓生としての帰属意識を高める。

(2) 全国支部長会会議を定例会議として開催する。

(3) 各支部会及びクラス会の活発な活動を支援し、同窓会への帰属意識を高める。

(4) 名古屋市内の支部を統合した組織又は名古屋支部会を検討する。

6 大学関連事業計画

(1) 学校法人愛知医科大学理事・評議員会に出席し、法人側との意見交換ならびに協議を行なう。

(2) 理事長、学長、大学役職者との懇談会を開催し、情報、意見交換及び問題事項に関する協議を行う。

(3) 大学との共同事業の計画及び実施、その他必要に応じて講演会等の開催及び講演者の派遣を検討する。

(4) 学生教育を支援し、臨床実習の充実、国家試験合格率の向上への対応を図る。

7 学内機関関係事業計画

(1) 春の父兄後援会定期総会（国試懇談会）に参加し、意見交換ならびに協議を行う。

(2) 父兄後援会役員との懇談会を開催し、協議を行うとともに情報交換を図る。

(3) 大学看護学部同窓会との交流ならびに情報交換を積極的に行う。

(4) 医学部父兄後援会及び看護学部父母会等と時宜、課題等について共同企画をすすめ、実施していく。

8 医師国家試験対策事業計画

- (1) 国試対策委員（4～6年生）との交流を図り、国試対策活動への援助を行うとともに、また同窓生としての帰属意識を高める。
- (2) 国家試験当日（3日間）において、要請があれば夜間診療体制を会員の協力のもとに実施する。

9 他機関同窓会関係事業計画

- (1) 私立医科大学同窓会連絡会全国会、西部会へ出席し、他大学同窓会の動向把握とともに「愛橘会」の事業推進に反映させていく。
- (2) 愛知県私立大学同窓会連合会へ出席し、県内の各同窓会との意見交換を行い事業推進に反映させていく。
- (3) 同県内の藤田保健衛生大学医学部同窓会（藤医会）との協議・懇親会を開催し、各同窓会会員相互の情報交換を積極的に推進していく。

10 その他

- (1) 愛知医科大学学際的研究活動等への支援、協力の在り方を検討する。

平成27年度 予算（資金収支計算書）

一般社団法人愛知医科大学同窓会

1. 収入の部

科 目	平成27年度予算額	平成26年度予算額	予 算 説 明
1. 会費	16,000,000円	16,000,000円	
2. 雑収入			
銀行利息			銀行利息
その他			定時社員総会時、大学(理事長)祝儀
3. 寄附金			
4. 広告協賛金			
収入合計	16,000,000円		

2. 支出の部

科 目	平成27年度予算額	平成26年度予算額	予 算 説 明
1. 印刷費	1,046,480円	1,030,000円	
会報	840,480円	824,000円	定期刊行(52号・53号、各5,100部(前年度5000部)、臨時刊行2,800部)
その他	206,000円	206,000円	定期総会資料印刷・名刺
2. 助成金	5,367,350円	5,367,350円	
クラス会	500,000円	500,000円	クラス会 1回目10万円 2回目以降 5万円 開催回数5回まで
支部会	1,000,000円	1,000,000円	10万円/1支部会(開催回数5回まで)
医大祭	1,500,000円	1,500,000円	第42回医大祭・三者(学生、父兄会、同窓会)合同企画
学術振興	1,100,000円	1,100,000円	研究・出張助成(愛橋学術賞30万円・文鎮)(愛橋医学奨励賞5万円)(海外留学助成10万円)
学会開催助成	500,000円	500,000円	学会開催助成(全国学会20万円・地方会10万円)
学生支援	767,350円	767,350円	学生クラブ・同好会への支援・6年生「月間KOKUTAI」年間購読料3冊分
3. 通信費	1,838,000円	1,648,000円	
発送費	1,220,000円	1,030,000円	定期総会関係・会報52号、会報53号
切手他	618,000円	618,000円	後納郵便料・NTT、NTTifax、ダイヤルイン、Faxサービス使用料・切手・葉書・各種郵送料(支部会、クラス会案内・資料送付等)
4. 厚生協力費	0円	2,173,300円	
定期総会関係	0円	2,060,000円	会議費に計上
ホームページ	0円	113,300円	委託費に計上
5. 渉外費	453,200円	710,700円	
慶弔費	206,000円	206,000円	
卒業時記念品	0円	257,500円	USBメモリー(平成26～28年度分作成)・同窓会長賞(ボールペン)
入学時記念品	0円		入学記念品(フェイスシールド)(平成26～28年度分作成)
その他	247,200円	247,200円	謝礼(定期総会来賓・大学関係者・中元・歳暮・解剖霊霊祭献花等)
6. 委託費	1,333,900円	5,677,900円	
法務委託費	100,000円	4,944,000円	わとう法務合同事務所
会計監査委託費	133,900円	133,900円	東税理士法人
業務委託費	1,100,000円	600,000円	大学出向者、ホームページ委託業者
7 税金	100,000円	100,000円	法人市県民税
8. 消耗品費	515,000円	515,000円	
封筒・コピー用紙	206,000円	206,000円	封筒・コピー用紙・葉書用紙等
事務用品	51,500円	51,500円	文具等→確認する
コンピューター関係	103,000円	103,000円	プリンタートナー・カラーインク
その他	154,500円	154,500円	事務諸経費等
9 備品費	360,500円	647,314円	
コンピューター関係	円	286,814円	
その他	360,500円	360,500円	同窓会室看板
11 会議費	1,545,000円	1,545,000円	社員総会・理事監事会・委員会・支部会・懇談会・全国会・西部会・県私大連
12 旅費	1,236,000円	1,236,000円	社員総会・理事監事会・委員会・支部会・懇談会・全国会・西部会・県私大連
13 雑費(振込手数料他)	100,000円	72,100円	振込み手数料・残高証明書発行手数料
14 人件費(パート代)	3,000,000円	300,000円	職員給与(1名分パート含)・交通費・労働保険料含
15 リース料	433,124円		
パソコン・プリンター使用料	314,000円		
コピー機使用料	119,124円		
16 名簿管理費	2,700,000円	2,700,000円	名簿データベース化(150万)・会員動向調査費(120万)委託費へ
17 予備費	500,000円		社員総会関連予備費
18 記念事業積立基金	1,000,000円	1,000,000円	
19 寄附金	0円	0円	
支出合計	21,528,554円	24,722,664円	

前年度繰越金			前年度普通預金残高(瀬戸信本会計預金10万円→岡崎信用金庫普通預金へ) 前期分定期預金利息12,829円を含む
次月繰越金			2月末残高